

2019年9月27日

一般社団法人日本化学工業協会

日本動物実験代替法学会 第4回 日化協 LRI 賞 受賞者決定

一般社団法人日本化学工業協会(住所:東京都中央区、会長:淡輪敏(三井化学㈱代表取締役社長)、以下「日化協」)は、研究者奨励(育成)の一環として、“化学物質が人の健康や環境に与える影響”に関する優れた業績をあげた研究者を表彰するため、日本動物実験代替法学会(JSAE 会長:酒井康行)内に設立した日化協 LRI 賞^{※1}の第4回目の受賞者を決定いたしました。

^{※1}Long-range Research Initiative = 長期自主研究活動



[受賞者] 寒水 孝司 (そうず たかし)

東京理科大学 工学部 情報工学科

[テーマ] Interval estimation of the 50% effective time in small sample assay data

(邦題) 小標本データにおける Effective Time 50 (ET50) の区間推定法

[受賞理由] (主に以下の業績が評価されました。)

動物実験代替のための試験法を広く実用化するためには、バリデーションと呼ばれる科学的評価プロセスが必須である。受賞者は、各種代替法(LLNA-DA法、LLNA:BrdU-ELISA法、STE法、Vitrigel-EIT法、ADRA法など)のバリデーションと皮膚刺激性試験代替法(EPISKIN、EpiSkin、EpiDerm SIT法など)の第三者評価について、医療統計学の専門家として大きく貢献してき

た。受賞テーマである「小標本データにおける Effective Time 50 (ET50) の区間推定法」は、実験条件である比較的少数の測定時点と組織数から得られるデータ数であっても、皮膚刺激性試験代替法の指標(50%細胞生存率)を安定的に偏りなく区間推定(95%信頼区間の構築)できるようにした。これにより、ヒト表皮モデルの効率的な使用が可能になり、試験法の有用性が大きく向上したことが評価された。また、バリデーション、第三者評価、統計的研究を通じて動物実験代替試験法の開発と実用化に大きく寄与してきており、今後も更なる貢献が期待される。

なお、授賞式は、11月21日に産業技術総合研究所(茨城県つくば市)で開催する日本動物実験代替法学会第32回大会にて執り行われます。

LRIは、国際化学工業協会協議会(ICCA)に加盟している欧州化学工業連盟、米国化学工業協会および日化協の3つの団体によって1999年より運営されているグローバルプログラムであり、化学物質の安全性を向上させ、不確実性を低減させることを目的に、“化学物質が人の健康や環境に与える影響”に関する研究を長期的に支援している自主活動です。日化協では2000年よりLRIを通じた研究支援を行っています。「日化協 LRI賞」は、LRIの認知拡大および理解促進を図るとともに、同分野の優れた若手の研究者および世界をリードするような新しい研究分野を発掘することを目指して2015年より設立いたしました。JSAEならびに日化協LRIホームページで公募を行い、JSAE内学術委員会にて厳正なる審査を経て、日化協LRI賞へ推薦された候補者を日化協が正式に承認し受賞者が決定します。

以上

《本件に関するお問い合わせ先》

一般の方: (一社) 日本化学工業協会 LRI事務局 本多

TEL: 03-3297-2575

報道関係: (一社) 日本化学工業協会 広報部 永井

TEL: 03-3297-2555